

# 火の見櫓

(題字は 柴谷八尾市長)

発行所  
八尾市消防団  
発行責任者  
八尾市消防団長  
松村 芳治  
八尾市高美町5-7  
TEL(0729)92-0119  
FAX(0729)92-7722

## 2002 出初式



親しまれ頼られる  
消防団をめざして



八尾市消防団長  
松村芳治

早春の候、消防団員の皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、平成14年の初頭を飾る出初式が1月13日(日)に八尾中学校に於いて盛大に挙行されました。

皆様もご承知のとおり、昨年末まで曜日に関係なく出初式は1月7日というのが慣例となっていました。地域住民により親しまれる消防団を目指すことや団員自身も団活動に参加しやすい環境づくりを行う等、活性化を図る主旨で、柴谷市長さん始め関係者のご理解を得て日曜開催が実現された次第で、その結果、大変多くの一般市民の方々にご参観激励を頂くことが出来ました。

消防団の活性化計画につきましては、昨年、地域の人々により密着する分団を目指すため、

分団名を地域名に改め、団の組織も方面隊を導入しました。今年も4方面隊を確立して更なる組織改革に取り組み、林野火災用資機材等の整備や高安分団南部分隊(服部川)の積載車を更新配備し、装備の充実を図って地域住民から信頼される精強な分団づくりを進める所存であります。

また昨年は、新宿歌舞伎町での雑居ビル火災や池田小学校での殺傷事件、海外では米国での同時多発テロ事件等国内外を問わず災害が多発し、多くの尊い人命や財産が失われました。

幸いに、本市におきましては、大きな災害の発生は無く火災発生は94件で前年に比べ16件の減少となりました。

これは消防団員、職員はもとより事業所の自衛消防隊や地域の自主防災組織等防災に携わる方々が、多方面にわたって防火意識の高揚を喚起して頂いた結果であると考えます。

消防団員の皆様方には、引き続き地域の安全に貢献して頂きますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、団員皆様のご健康ご多幸を祈念いたしまして、ご挨拶とします。

### 八尾市消防出初式

高安分団 小西

平成14年1月13日(日)、消防職・団員総勢413名、車両38台が参加し、八尾市消防出初式が行われました。国旗掲揚、殉職者への黙とうのあと、消防音楽隊を先頭に徒歩部隊、車両部隊の行進、続いて永年地域防災に貢献された団員に対して市長・団長表彰が行われました。毎年1月7日に開催されていた出初式が、今年から日曜日開催に変わり、一斉放水の前に救助訓練が行われるなど、21世紀に入り出初式も段々と変化していきものだと思えました。



### 大阪府表彰式

平成14年3月24日(日)、府立青少年会館(中央区森之宮)で平成13年度大阪府消防表彰式が行われ、本市から、消防庁長官表彰を含め多くの団員が栄えある表彰を受章されました。

#### 消防庁長官表彰

#### ◎永年勤続功労章

山本分団 分団長 向井正雄

副分団長 松岡義一  
大正分団 副分団長 高内睦夫

#### ◎消防勤続功労章

志紀分団 副分団長 角野秀幸

副分団長 野中 孝  
山本分団 副分団長 志賀久仁利

#### ◎消防功労章

山本分団 副分団長 森田憲司

南高安分団副分団長 大西安則  
曙川分団 部長 山口修次

山本分団 団員 井藤守幸

#### ◎日本消防協会会長表彰

団 長 松村芳治

#### ◎精績章

副団長 川田政宣

副団長 鹿野 豊

大正分団 分団長 川淵 博

山本分団 分団長 向井正雄

分団特集

地域に溶け込んだ活動めざして

山本分団

広報部員 中谷賀典

向井大二

山本分団は、向井正雄分団長以下、上之島・上尾・東山本・福万寺の4個分隊、小型動力ポンプ付積載車4台、団員47名で構成され、担当区域は、北は東大阪境界、南は近鉄大阪線、西は旭ヶ丘、東は外環状線の範囲となっています。



各分隊は、毎月集会等において、消防車の点検整備、火災予防広報、放水訓練等を行い、防災活動や消火技術の習得に精励しています。一例を挙げますと、昨年11月に福万寺町内の消火器及びボックスの入れ替えを行い、町内の方々に初期消火の重要性を認識してもらった様、回覧板等で告知を



行いました。

団員相互のコミュニケーションとしては、分団主催のゴルフコンペや団員の歓送迎会を毎年開催し、団長はじめ本署、他分団の方々の参加を頂き、親睦交流を図っています。また、地元での地域交流も盛んに行っております。

歳末警戒はもとより、各種祭礼(夏・秋祭り、とんど祭り)の警



戒警備や子供会の行事、スポーツ祭の参加等、地域の方々との触れ合いを大切に考えております。

向井分団長は「近年、風呂の空焚き、暖房器具等による火災が、製品の安全機構の充実により少なくなつたが、消防団組織の重要性は、日頃の消火活動だけでなく、いざ大規模災害が起こった時、日頃地域に密着し、結束の強い集団は何よりいち早く機動力を発揮する。」と分団員に明言されています。

山本分団は地域に溶け込んだ活動を目指し、更なる団結強化、個々の充実、使命の自覚を念頭に日々活動を遂行してまいります。

大阪府消防協会長表彰

○永年勤続章

志紀分団 部長 西村孝頼

山本分団 部長 六田利則

南高安分団 副分団長 村島友忠

○勤続章

南高安分団 副分団長 中川広幸

大正分団 部長 池田公信

志紀分団 部長 西野実雄

山本分団 部長 丸田敏彦

久宝寺分団 分団長 和田秀之

○勤功章

久宝寺分団 分団長 木田孝久

志紀分団 部長 西川幸治

南高安分団 部長 羽田勝紀

山本分団 部長 畑中永司

志紀分団 団員 石井一夫

山本分団 団員 木野健司

○精勤章

曙川分団 班長 藤田博

山本分団 班長 兼子弘行

南高安分団 班長 石井康博

高安分団 班長 辻野純一

班長 松村俊一

班長 松村康正

班長 大西秀和

班長 梶正紀

班長 阪上廣治

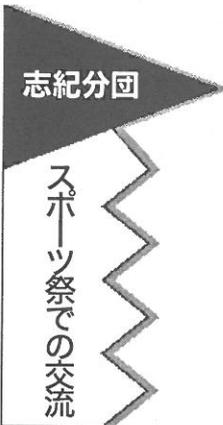
# ウォームアップ



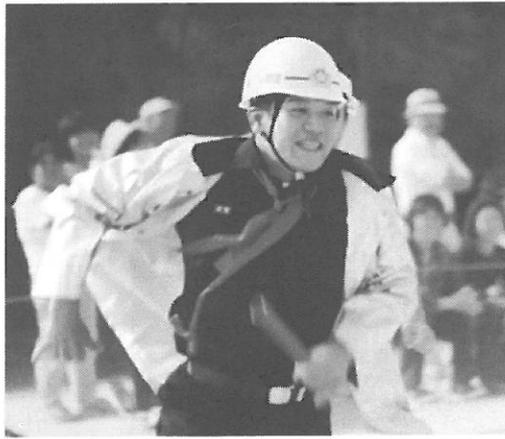
平成13年11月5日(月)、八尾若草団地(若草町)で行われた、高層住宅火災の訓練に曙川分団が参加しました。



分団は、5階までのホースの延長、放水訓練、けがをした人達の救助訓練を行いました。  
曙川地区では、以前5階建のマンションで3人の犠牲者を出す火災がありました。朝早い時間で、現場に到着した時、2階から出火した火災は、黒い煙が窓から噴き出て、煙が3階4階と次々と上昇



平成13年10月7日(日)志紀中学校で行われた市民スポーツ祭に志紀分団も場内整理担当で参加しました。

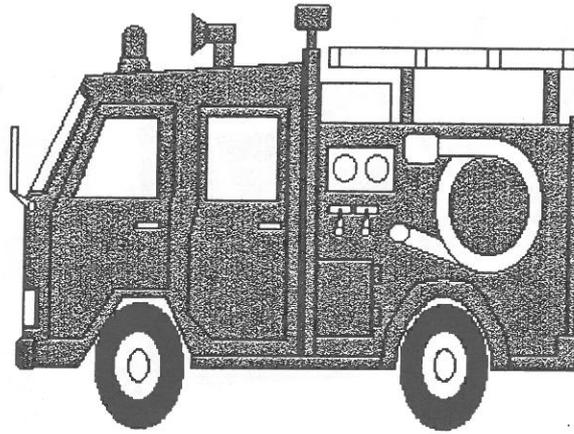


し、煙の怖さを感じる火災でした。  
高層住宅火災の訓練に参加して、住民の方は煙を感じたらすぐに避難すること、消防隊はいち早く火を消すことはもちろん、上階の避難誘導にあたることを訓練で学びました。  
(吉川)



今年、場内整理だけでなく対抗リレーにも参加し特に弓削分隊の西川さんが防火服にヘルメット姿で出場、場内の拍手喝采を浴びました。  
また、スポーツ祭の目玉は恒例の放水訓練の披露で、子供達には非常に好評で、将来の消防団員育成に役立っています。この放水訓練は毎年、天王寺屋分隊の簡易搬送式ポンプを使用していました。が、昨年末にこのポンプも車積載式に更新され志紀分団の4個分隊全てに車積載式のポンプが配備されました。  
これにより、万一の時にも迅速な対応が可能になりこれからも安全な地域社会維持に努めていきたいと思えます。  
(近江)

今年、高安分団では、年頭の勉強会（新年会）を1月25日（金）午後6時から、信貴山「十三屋」において、斎当分団長以下22名が参加して開催され



ました。分団長の挨拶で始まり引き続き今年の活動目標とする3点の案件が示されました。今年の分団活動目標として

- ① 消火活動での団員の危害防止
- ② 林野火災に備えて、進入口等の把握と事前対策
- ③ 担当区域内の消防対象物及び地水利の把握と火災防ぎよについて

参加した各地区を代表する団員一人ひとりが地域での防災担当者としての自覚をもとに、約1時間 にわたって、終始熱心に災害出場時の隊員の事故防止と防ぎよ対策等を討議しました。勉強会の後、懇親会に移り、分団長の乾杯発声で参加者それぞれがお酒を酌み交わして相互の親交を深め、高安分団員の絆を強くした意義のある勉強会となりました。

(小西)



の延焼危険があり、負傷者もいるとの想定で、消防署・消防団・勝軍寺関係者が参加し、通報・初期消火・人命検索救出・放水等の訓練が30分程の時間で、迅速に行われました。

龍華分団からは、5名が参加し、境内でホースを延長、放水の訓練を行い、本番さながらの緊張した訓練となりました。



平成14年1月24日（木）、勝軍寺（太子堂）で行われた、文化財消防訓練に龍華分団が参加しました。訓練は、勝軍寺太子殿の2階から出火、強風により、隣接建物へ



9月から始めている、月1回の放水訓練が多少なりとも、役に立った様に思いました。

(岸)

今回の大正分団名物団員は、太田分隊の西野さんを紹介します。

西野実雄（にしのじつお）昭和25年生れの51才、部長として、日夜活躍中です。

趣味をお聞きすると、ゴルフ・家庭菜園・カラオケと答えてくれました。（ゴルフ・カラオケの腕前は???）

最後に、「地域防災の様々な活動に参加し、住み良い町になる様これからも精一杯頑張ります。」と抱負を語ってくれました。

(中村)



# ★ ★ ★ ★ ★ 消防総合訓練(秋)

平成13年11月5日(月)、八尾市若草町の公団住宅で、高層建物火災を想定して消防車8台、消防職員、曙川分団、そして住民合わせて135名が参加し、消防訓練が次のように行われました。



- ① 住居者による通報、初期消火及び避難誘導訓練。
- ② 消防隊による情報収集、伝達及び部隊指揮訓練。

③ 消防隊による避難誘導、ホース延長放水訓練。

④ 救助隊による避難誘導、人命検査及び人命救助訓練。

⑤ 梯子車による架梯救出訓練。

⑥ 救急隊による応急処置訓練。

開始から30分と短い時間内で本番さながらに手際よく行われました。避難する住民の人は、「今日は訓練で家の戸締りなどをゆつくりして避難できましたが、いざというときは、逃げることで精一杯でしょう。」と言っておられました。(曙川分団 吉川)

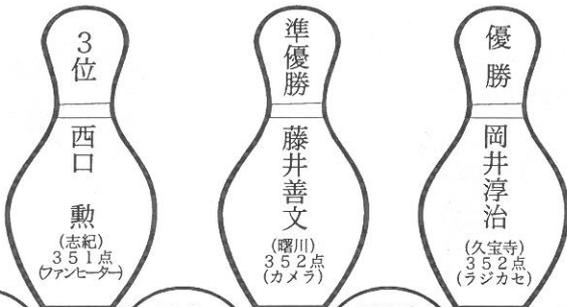
## 一球入魂

平成13年11月2日(金)、八尾ボウルアローにおいて151名が参加し、消防団厚生事業の一環として、ボウリング大会が開催されました。松村団長の始球式で大会が始まり、各自、豪華商品を狙いスコアメイクに専念する者、また、トビ賞狙いやスピード表示に専念する者、それぞれ白熱したひと時を楽しみました。

上位入賞者及び豪華商品をゲットした幸運な方は下記の通りです。おめでとーございました。(山本分団 向井大)

## 健康であか?

平成13年の11月17日(土)、消防本部において、健康診断が行われました。今年は、113名の受診があり、治療を要すると診断をされた方はいらつしやらなかったものの、受診された中の約86%の方に、何らかの異常がみられたようです。大きな病の予防の為に、普段からの規則正しい生活習慣を身につけ、とくにバランスのとれた食事を心掛け、健康な身体にしていきたいものです。(久宝寺分団 志村)



- ハイゲーム 寺川義浩 (南高安) 200点 ゴールドピン
- 70位 畑中喜幸 (南高安) (自転車)
- 団長賞 中村博志 (志紀) (自転車)

### 肥満度を計算しよう!

$$BMI : \frac{\text{体重(kg)}}{\text{身長(m)}^2} < 22$$

肥満度: -10% ~ +10%

BMI (Body Mass Index) という値を使用します。これは体重(kg)÷身長(m)の2乗で出し、この値が22以上だと肥満となります。また、標準体重を出す場合は22×身長(m)の2乗で、その±10%以内が基準範囲です。

### 診 断 結 果

- 受診者 250人中 113名(45.2%)
- 受診者の内訳
  - A-16人 異常なし
  - B-1人 軽い異常はあるが病的とはいえない
  - C-52人 軽度の異常
  - D-21人 再検、精検を要する
  - E-0人 治療を要する
  - F-23人 現在治療中
- 所見別
  - 1 血中脂質、高脂血症 59人
  - 2 肝機能 35人
  - 3 聴力 22人
  - 4 血圧 20人



# 歳末特別警戒

年の瀬も押し迫る12月末、消防団では、歳末特別警戒を行いました。各分団で、担当区域を消防車で防火を呼びかける広報をしながらの巡回パトロールや、有事に備えて、屯所での長時間の待機など、厳しい寒さと戦いながらの活動でした。

我が、八尾分団でも、28日、30日の3日間、歳末特別警戒を行い、良い年明けを迎える為の年内最後の活動でした。警戒中は火災などもなく、やり遂げた後は、無事に終わった事でほっとした気分になりましたが、新年を迎え、心新たに気持を引き締め、これからも防災活動に励んで行かなければならないと感じました。

(八尾分団 武林)



▲ 歳末警戒中の八尾分団

# 春の消防総合訓練

平成14年3月4日(月)、八尾市楽音寺3丁目、介護老人保健施設「ノーブル楽音寺」に於て、消防署、高安分団、施設関係者及び入所者総勢188名、車両8台が参加し、消防総合訓練が行われました。3階療養室から出火、火煙が4階にも延焼拡大、数名が逃げ遅れ、屋上に避難した入所者があるという想定のもと、初期消火↓避難誘導↓ホース延長↓人命救助↓応急処置↓放水と短時間の内に各訓練を終えることができました。しかし、実際の火災現場で、訓練のように冷静に判断し行動することは難しいでしょう。繰返しこういった訓練を行う必要があるとともに、日頃から火を出さないように心がける事が重要であると感じました。

(高安分団 小西)



# 春の火災予防運動

恒例の春の火災予防運動が3月1日(金)から7日(木)までの一週間、

たしかめて。

火を消してから

次のこと

を統一スローガンに全国一斉に展開されました。

私たち消防団では、日頃、市民の皆様には火災予防の意識を呼びかけておりますが、特に冬から春に

かけては、暖房器具等からの火災が発生しやすくなります。出かける前には、一人ひとりが火の消し忘れなどが無いか最後まで確認し、火災のない明るく楽しい春を迎えましょう。

(西郡分団 原田)



# 遂に登場!

# まち火消 川柳コーナー

今回は、皆様よりお寄せいただいた川柳の中から4句、紹介いたします。

まかさんけ わいは八尾市の マックイーン  
足手まとい

出勤や いま寝たとこやん ウーカンカン  
いねむり狂四郎

ギョツとした らがったよかった 苗雲  
勘吉

紅い華 注ぐ豪雨で 枯れてゆく  
辰五郎

どの句も、詠むほどにうなずいてしまうような何とも言えない心のつぶやきです。今後も、素晴らしい川柳をお待ちしておりますので、どしどしお寄せ下さい。

# 平成13年

## 八尾市消防白書

### 【火災】94件

■死者0人・負傷者11人

■2億738万1千円が灰

■原因1位『放火(疑い含む)』

火災件数は、94件で昨年に比べ16件の減少。損害額は2億738万1千円となりました。原因別では放火(疑い含む)による火災18件がトップ、次いでたばこ13件、こんろ、電灯等の配線各10件の順となっています。



### 【救急】1万1千844件

■1日平均約32回出場

■市民24人に一人が利用

### ■救急種別1位『急病』

救急件数は1万1千844件で昨年に比べ723件の増加、またもや過去最多を更新。1日平均約32回出場し、市民24人に一人が救急車によって医療機関に搬送されたこととなります。

### 【救助】300件

■約29時間に1件

■救助事故種別1位『交通事故』

救助出場件数は300件で、うち救助活動件数は、73件、救助人員は74人でした。



### ◆ 消防団災害出場状況 ◆ 平成13年中

分団	種別	火災		火災以外の災害	
		件数	延人数	件数	延人数
本部		9	13	17	31
久宝寺		5	43	6	55
西郡		1	10	5	15
八尾		10	96	3	18
龍華		9	42	9	40
大正		8	84	13	134
曙		6	61	7	72
南高		2	62	19	394
高山		7	111	9	113
山本		9	287	19	635
志紀		3	76	6	144
計		69	885	113	1651

※広報・訓練・特別警戒等は含まず。

### ● 消防団年間行事予定 ●

- 5月 消防団任命式
- 4月 初任科・幹部教養
- 4月 恩智川水防訓練
- 4月 幹部視察研修
- 4月 大阪府地域防災訓練
- 4月 機関員講習
- 4月 大阪の消防大賞
- 4月 全国女性消防団員
- 4月 活性化大阪大会
- 7月 地区支部総合訓練
- 6月 河内音頭まつり警備
- 6月 市防災訓練
- 6月 大阪府消防大会
- 6月 広報紙発刊
- 8月 秋の火災予防運動
- 8月 消防団員健康診断
- 8月 防火フェスティバル
- 8月 消防団厚生事業
- 8月 歳末特別警戒
- 8月 消防出初式
- 8月 防災とボランティア訓練
- 8月 文化財訓練
- 8月 春の火災予防運動
- 8月 大阪府消防表彰式
- 8月 消防記念日式典
- 3月 広報紙発刊

### ● 広報部会名簿 ●

委員長	副委員長	委員
久宝寺分団 横山 典久	龍華分団 泉 良幸	久宝寺分団 志村 武行
西郡分団 原 昌志	八尾分団 小笠原 志一	龍華分団 岸 林 広元
大正分団 大正分団 中 浩之	南高安分団 南高安分団 寺 義三	曙川分団 曙川分団 奥 庄雅
高山分団 高山分団 吉 川 公三	山本分団 山本分団 松 利有	山本分団 山本分団 松 利有
志紀分団 志紀分団 近 藤 日出	志紀分団 志紀分団 近 藤 日出	志紀分団 志紀分団 近 藤 日出
近江分団 近江分団 丸 井 大賀	近江分団 近江分団 丸 井 大賀	近江分団 近江分団 丸 井 大賀
向谷分団 向谷分団 中 谷 大賀	向谷分団 向谷分団 中 谷 大賀	向谷分団 向谷分団 中 谷 大賀
阪上分団 阪上分団 阪 上 大賀	阪上分団 阪上分団 阪 上 大賀	阪上分団 阪上分団 阪 上 大賀
松田分団 松田分団 松 田 大賀	松田分団 松田分団 松 田 大賀	松田分団 松田分団 松 田 大賀
近藤分団 近藤分団 近 藤 日出	近藤分団 近藤分団 近 藤 日出	近藤分団 近藤分団 近 藤 日出
小松分団 小松分団 小 松 利有	小松分団 小松分団 小 松 利有	小松分団 小松分団 小 松 利有
市田分団 市田分団 市 田 利有	市田分団 市田分団 市 田 利有	市田分団 市田分団 市 田 利有
畑中分団 畑中分団 畑 中 利有	畑中分団 畑中分団 畑 中 利有	畑中分団 畑中分団 畑 中 利有
森山分団 森山分団 森 山 利有	森山分団 森山分団 森 山 利有	森山分団 森山分団 森 山 利有
寺川分団 寺川分団 寺 川 利有	寺川分団 寺川分団 寺 川 利有	寺川分団 寺川分団 寺 川 利有
吉川分団 吉川分団 吉 川 利有	吉川分団 吉川分団 吉 川 利有	吉川分団 吉川分団 吉 川 利有
奥田分団 奥田分団 奥 田 利有	奥田分団 奥田分団 奥 田 利有	奥田分団 奥田分団 奥 田 利有
川北分団 川北分団 川 北 利有	川北分団 川北分団 川 北 利有	川北分団 川北分団 川 北 利有
岸北分団 岸北分団 岸 北 利有	岸北分団 岸北分団 岸 北 利有	岸北分団 岸北分団 岸 北 利有
武林分団 武林分団 武 林 利有	武林分団 武林分団 武 林 利有	武林分団 武林分団 武 林 利有
小笠原分団 小笠原分団 小 笠原 利有	小笠原分団 小笠原分団 小 笠原 利有	小笠原分団 小笠原分団 小 笠原 利有
原田分団 原田分団 原 田 利有	原田分団 原田分団 原 田 利有	原田分団 原田分団 原 田 利有
志村分団 志村分団 志 村 利有	志村分団 志村分団 志 村 利有	志村分団 志村分団 志 村 利有
中村分団 中村分団 中 村 利有	中村分団 中村分団 中 村 利有	中村分団 中村分団 中 村 利有
泉村分団 泉村分団 泉 村 利有	泉村分団 泉村分団 泉 村 利有	泉村分団 泉村分団 泉 村 利有
久宝寺分団 久宝寺分団 久 宝寺 利有	久宝寺分団 久宝寺分団 久 宝寺 利有	久宝寺分団 久宝寺分団 久 宝寺 利有

### 編集後記

今回も無事9号を発刊することが出来ました。次号は、ついに記念すべき第10号です。皆さん、よりいっそうのご協力をお願いします。

(中村)